

三井住友トラストグループの AI ポリシー

当社及び三井住友トラストグループ各社（以下「当グループ」）は、「託された未来をひらく」という存在意義（パーパス）のもと、AI をはじめとするデジタル技術の活用に取り組んでいます。

特に急速に技術進化が進む AI は、品質向上、新たな価値の創出、業務の効率化等に欠かせない技術となっており、当グループでも利活用の推進に注力しています。

一方で、当グループは「AI 利活用の推進」と、「AI がもたらすリスクの適切な認識、管理」を両輪で取り組むことが重要と考えています。当グループは、取締役会の監督の下、既存のリスク管理体系と調和した AI ガバナンス態勢を構築し、「AI ポリシー」（以下、本ポリシー）を制定します。

今後は、技術進化を含む外部環境の変化を捉えながら本ポリシーを更新・運用し、AI 利活用の推進とリスク管理の両輪で取り組んでまいります。

1. 人間中心

当グループは、AI システム・サービスの開発・提供・利用において、後述する各事項を含む全ての取り組むべき事項の土台として、人権を侵害することがないように配慮します。また、当グループは、AI が人々の能力を拡張し、多様な人々の多様な幸せ（Well-being）の追求が可能となるよう行動します。

2. 安全性・堅牢性

当グループは、信託グループとして信託の受託者精神に立脚した高い規律に基づき、社会からの信頼確立に努めています。AI システム・サービスの開発・提供・利用を通じ、ステークホルダーの生命・身体・財産及び精神・環境に危害を及ぼすことがないように配慮します。

3. 公平性

当グループは、AI システム・サービスの開発・提供・利用において、特定の個人ないし集団への人種、性別、国籍、年齢、政治的信念、宗教等の多様な背景を理由とした不当で有害な偏見及び差別をなくすよう努めます。また、当グループは、それでも回避できないバイアスがあることを認識しつつ、この回避できないバイアスが人権及び多様な文化を尊重する観点から許容可能か評価した上で、AI システム・サービスの開発・提供・利用を行います。

4. プライバシー保護

当グループは、AI システム・サービスの開発・提供・利用において、関係法令を遵守

した上で、個人情報・機密情報等の重要性に応じてアクセスを管理・制限すること等により、ステークホルダーのプライバシーを尊重し保護することに努めます。

5. セキュリティ確保

当グループは、AI システム・サービスの開発・提供・利用において、サイバー攻撃を含む不正操作によって AI の振る舞いに意図せぬ変更又は停止が生じることのないように、セキュリティ対策に取り組みます。

6. 透明性

当グループは、AI システム・サービスの開発・提供・利用において、AI システム・サービスを活用する際の社会的文脈を踏まえ、AI の判断根拠等について検証可能性を確保し、必要かつ技術的に可能な範囲で、ステークホルダーに対して合理的な範囲での情報提供に努めます。

7. アカウンタビリティ

当グループは、AI システム・サービスの開発・提供・利用において、データ等のトレーサビリティの確保に加え、本ポリシー各事項の対応状況について、ステークホルダーに対して、当グループの社会的役割及び開発・提供・利用する AI システム・サービスのもたらすリスクの程度を踏まえ、合理的な範囲で文書化等のアカウンタビリティを果たしていきます。

8. 教育・リテラシーの向上

当グループは、グループ内の AI に関わる者が、AI の正しい理解及び社会的に正しい利用ができる知識・リテラシー・倫理感を持つために、必要な教育を行います。また、当グループは、AI の複雑な仕組みや誤情報生成のリスク、さらには意図的に悪用される可能性も勘案し、ステークホルダーに対しても注意喚起等を行っていきます。

9. 公正競争の確保

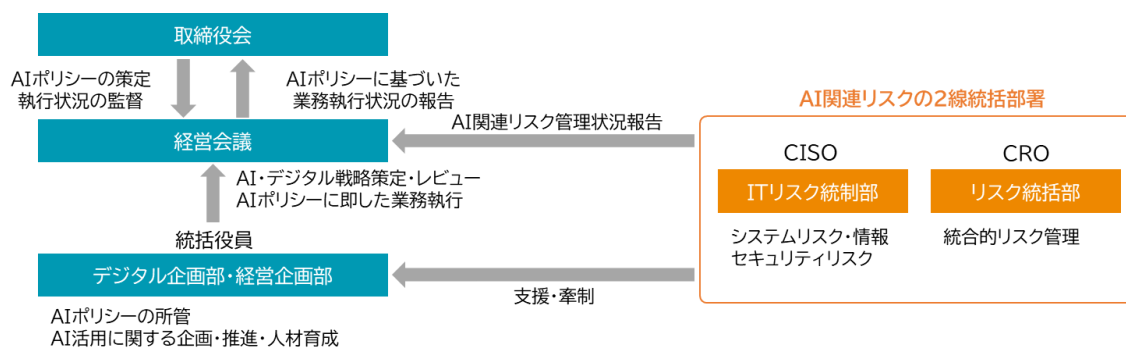
当グループは、AI を活用した新たなビジネス・サービスが創出され、持続的な経済成長の維持及び社会課題の解決策の提示がなされるよう、AI をめぐる公正な競争環境の維持に努めます。

10. イノベーションの創出

当グループは、グループ内外からの技術・アイデアの積極的な活用を推進し、グループ内外の AI システム・サービスの相互接続性・相互運用性の確保に努めます。また、当グループのイノベーションを損なわない範囲で対外的に情報提供を行い、社会全体

のイノベーション創出に貢献していきます。

<AI ガバナンス体制>



以 上